



さだボイス



作者：娘 7月号

(鈴木さだはる後援会だより No.38)

ごあいさつ

日頃は「鈴木さだはる後援会」に対し、ご支援ならびにご協力を賜り感謝申し上げます。
6月議会が閉会しました。議案等の状況については、下記の通りです。今回、補正予算議案の中でも提案があり、新聞紙上でも取り上げられていましたので、ご存じの方も見えるかと思いますが、中日ドラゴンズファーム拠点誘致事業があります。事業箇所としては、JR東海道本線、逢妻駅北側にあたる三田町（みたちょう）を予定しています。今回の予算は、公募に対する準備費用となりますが、今後の状況に注視していきたいと思っております。
7月に入り、まさに夏本番の時期を迎えます。年々暑さは増しているようにも思われますが、暑さ対策、空調などをうまく使用してご自愛ください。

【議会情報】

6 月 議 会 定 例 会 閉 会

※審議結果 ◎陳情（8件）はすべて不採択。

◎承認事項→承認、同意事項→同意

議案（第28号～第34号）は、全て可決（一部議案に反対あり）

本会議にて一般質問（6/5）・・・テーマ1「自転車活用推進計画について」

安全に楽しく自転車で走ることができるまちづくりを！！

（一部抜粋）

Q1) 自転車通行空間やサイクル&バス・レールライド、サイクリングロードに取り組み状況は？

A1) 駅や主要施設へのアクセス性などを考慮した路線を優先整備路線と位置づけ、順次整備を進めていく方針の中、一般県道今川刈谷停車場線の神明町交差点から刈谷駅北口に至るグリーンモールの区間を令和7年度に整備、また、過年度から整備に向けて関係機関と調整を進めてきた、昭和町交差点から恩田町交差点までの市道01-36号線は、接続する主要地方道知立東浦線の整備について、愛知県による公安委員会との協議が整い、順次整備していくと聞いており、今後は、この整備状況をふまえ、引き続き関係機関と協議を行っていく。そのほかの自転車ネットワーク路線は、道路改良などと併せて整備することで、効果的に自転車利用環境の形成に取り組んでいく。



（整備されたグリーンモール）

Q2) サイクル&バス・レールライドを推進するために市が行った事業やその利用状況は？

A2) 今年2月のかりまる再編に伴い、総合運動公園、一ツ木町一本木の2箇所のバス停を乗継拠点とし、ベンチ、風除けパネル、バスロケーションシステムなどを備えた快適な待合環境を整備するとともに、駐輪場も整備し、サイクル&バスライドがしやすい環境も整えた。サイクル&バス・レールライドは、公共交通の利用促進に寄与する施策としても効果的であるとの考えで、今後も、安全で走りやすい自転車通行空間の整備とあわせて取り組んでいく

（整備されたサイクル&バス・レールライド）

（総合運動公園）→

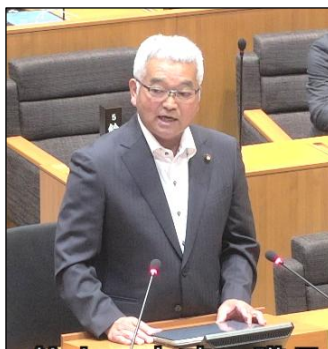
（一ツ木町一本木）↓



Q3) 逢妻川サイクリングロード整備について、日高公園から亀城公園までの検討状況、方向性は？

A3) 市道01-40号線などの整備計画の検討にあわせて、国道155号と交差する区間の概略的なルート検討を行っている。検討では、施設の維持管理や利用者の安全性確保など、様々な課題を確認することができたので、今後は、市道01-40号線などの関連事業の進捗状況を見据えつつ、適切な時期に河川管理者などの関係機関と調整を図りながら、検討する。

〈さだコメント〉この計画は、多くの部署が協働して成り立つ計画で、更に横の連携を強固なものにして、安心安全に自転車で走ることができる環境づくりを、早い段階で整備をしていただくことを引き続き要望していきたいと考えます



(国道155号と交差する
工事中の01-40号線)

テーマ 2「地域防災計画について」

刈谷市全体が防災に強いまちづくりにつながるように推進を！！

Q1) 毎年2月に開催する防災会議において、どのような見直しを行ったのか？

A1) 本年2月の見直しは、能登半島地震における課題に関するものが主な内容で、まず避難生活の改善を目指すものとして、避難所における一人あたりの居住スペースを最低3.5㎡とするスフィア基準に沿って、避難者の居住スペースを確保すること、管理栄養士の活用等によるメニューの多様化、適温食の提供、栄養バランスの確保など、食事の質の確保に配慮すること、トイレや避難所の清掃、器材の洗浄などの用途に欠かせない生活用水を確保するため、給水タンク、貯水槽等の整備を図ること、を追記したもの。その他の主な改正内容として、防災DXに関するものとして、災害により通信不能な地域が発生した場合に備えて、衛星通信によりインターネット環境を確保すること、被害情報の早期把握のために収集した画像や映像を、災害対策本部で整理し、オンラインミーティング等を活用して防災関係機関で情報共有する旨を追記した。

Q2) 避難所における一人あたりの居住スペースを変更することで、入居人数は、どう変わるのか？

A2) 帰宅困難者用の避難所である総合文化センターを除く全36避難所の想定収容人数は、居住スペースの考え方を1人あたり3.0㎡から3.5㎡に変更したことに伴い、24,470人から21,060人へと減少する。そうした状況を踏まえ、本市では、昨年度、市内のビジネスホテル事業者6社と災害協定を締結した。これにより、避難所の過密状態の緩和、および避難生活における生活環境の質の向上を図っていく。

〈さだコメント〉刈谷市でも補助事業として取り組んでいる、感震ブレーカー設置、耐震化、家具の転倒防止、早期の避難といった対策をすることにより大きく被害が軽減できるとのことです。より多くの方に補助事業を知っていただき利用して欲しいと思います。そして各地区自主防災会や各自治会役員の皆さんの協力、市民の皆さんお一人おひとりの理解と協力で安心安全なまちづくりをしていきたいと思っています。

【7月の主な予定】

10日 自動車総連研修会
18日 防犯講演会
21日 地議連情報交換会
29日 議会運営委員会

【7月の暦】

2日 半夏生（はんげしょう）
7日 七夕
小暑（しょうしょ）
20日 海の日
土用（どよう）
23日 大暑（たいしょ）
26日 土用の丑（どようのうし）

【あとがき】6月議会で一般質問させていただいた2テーマについては、地域で安心安全に暮らせるまちづくりの中での事業計画でもあります。市民の皆さまが、日常生活の中で疑問に思うこと、改善してほしいことなどのお声をいただきながら質問内容を構成しています。一般質問は、本会議前の決められた期日までに議長へテーマを通告することになっています。質問内容については、担当部局とのヒヤリングをしたうえで質問していきます。私は、議員と立場として、行政に対して市民の皆さまからの意見を基に発言させていただいています。直ぐに解決すること、出来なこと様々ですが、これからも市民の皆さまが、安心安全に暮らせるまちづくりに取り組んで参ります。